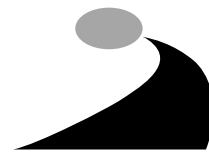


秋田県立大学 図書館だより



No. 2 2001.3

》》》》》》》》》 目 次 《《《《《《《《《《

大学図書館利用の勧め 秋田県立大学学長 鈴木 昭憲	1
チョコレートのおかえし 総合科学教育研究センター教授 安西 和博	3
図書館利用案内：相互貸借と文献複写	4
資料探索法：論文検索のしかた	5
12年度受入資料について	7
お知らせ	8



大学図書館利用の勧め

秋田県立大学学長 鈴木 昭 憲

大学と図書館の関係は、切っても切れない関係がある。事実、世界の有名な大学には、必ずすばらしい図書館が附属しているものである。私が、ドイツのハイデルベルグを訪れたとき、たまたま大学の図書館にぶらりと入ったところ、司書の人から大学図書館に古代ゲルマン写本のコレクションがあることを教えられ参観することができて感激した思い出がある。諸君も、もし外国旅行をする機会があったら、ぜひ大学図書館を訪ねてみることをお勧めする。

わが国でも、図書館は、大学における最も基本的な施設として整備すべきことが義務づけら

れているが、なぜだろうか？

大学における学術研究や教育を支える基盤であると考えられているからに他ならない。すなわち、大学図書館が、学生の自習に必要な図書を収集し、閲覧に供するという、「教育図書館」としての大切な役割があるからである。また、「研究図書館」として、研究に必要な文献や情報の収集・提供をすることが、大学図書館の主要な役割の一つである。さらに、図書館は、「市民の大学である」ともいわれ、大学が地域社会に提供すべきサービスとしても大学図書館は大切な地位を占めている。それゆえ、この厳しい財政事情の中で、どの大学でも大学図書館

の運営・維持には多くの努力を払っているのだ。

本学の図書館は、珍しい図書を収蔵しているわけではないが、研究図書館として、また学習のための教育図書館として出来るだけ利用しやすい図書館になるよう努力をしているところである。

さて、学生諸君はどのくらいの頻度で図書館を利用しているのであろうか。いま皆さんには、課題探求力を身につけることが求められている。課題探求能力を養う実践の場の一つとして図書館はなくてはならないものである。皆さんが、講義の中で何か課題を与えられたとする。問題のありかが直ちに理解でき取りかかることが出来れば問題ないが、もし、問題に取りかかる手がかりがわからなかったらどうするか。先生に聞くという方法もある。自ら問題を発見し解決する能力の開発を標榜する本学に学ぶ諸君には、他にも選ぶべき手段があるのではないか。

私は、諸君に、先ず自分の力で問題解決の手がかりを見出す努力を期待したいと思う。さて、自分で問題に取り組む手がかりを求めるときに、頼りになるのは先人達がその問題にどのように取り組んできたかということを知ることである。一般的には、関連する文献を見つけ出して読んでみることである。もっとも、問題によっては、問題の背景を知ることからはじめなければならないことも少なくない。そんなときには、百科事典をはじめ各種の辞典や辞書が参考になろう。それらによって問題の背景の概略を掴んでから、専門の参考書を参照する。内容が豊富で索引の充実した大部の参考書の索引を事典代わりに利用することも、覚えておくとよいでしょう。とくに、英語で書かれた専門教科の教科書（大学用）は、そのような目的には最適である。

辞典の検索から専門の参考書まで、効率よく調べるためには図書館が大いに役立つはずである。そのような努力をしても、なお手がかりが見えないときには、遠慮なく教員の研究室を訪ねるがよい。きっと、親身になって相談に乗ってくれるでしょう。

ただ、本学の図書館はまだ整備の途中であり、あるいは諸君が調べたいとおもう図書や文献がそろっていないかもしれない。そのようなときにも、遠慮なく、研究室を訪ねることである。

学生諸君には、図書館を十分に活用していただきたいと思う。できれば、専門の学術雑誌等も手にとってみてほしい。目次に目を通し、もし興味のある論文や記事が目についたならば、完全に理解できなくともよいから挑戦してみたいかがであらうか。あるいは、仲間を募って勉強会をしてみるのもおもしろいと思う。私も、学生の頃先輩に勧められて充分にはわからないながら、学術論文に挑戦し、教科書や講義では得られない知的刺激と学問の先端にふれるという高揚した感動を味わったものである。

ただ、当然ながら図書館を利用するには、いくつかの守るべきルールがある。その第一は、静粛を保つことである。図書を利用して、眠くなるかもしれないが、そのときは他人に迷惑のかからぬように、居眠りしてもよい。また勉強につかれたら、図書館の書架をながめて歩いてもよい。図書館の書架をながめたり、新刊書や新たに備え付けられた図書や雑誌をながめることで色々な発見があるはずであり、これも図書館利用の楽しみの一つである。

学生の皆さんが、図書館を十二分に活用され、知的に楽しい大学生活を送られることを期待している。

チョコレートのおかし

総合科学教育研究センター教授

安西和博

(図書・情報委員会委員)

「賣り家と唐様で書く三代目。」祖父が身を起こしてひと身代をきずく。親の苦勞を背中に見ながら育った二代目は、事業を堅実に軌道にのせる一方で、多大な資産を背景に習い事に手を染める。祖父の苦勞を知らない三代目は、資産を傾けて芸事に入れあげ、ついに破産する。玄人はだしのハイカラで見事な書風の売り家の札が軒先に貼られる。かつての豪商が没落していく自分の家系に題材をとったトマス・マンの『ブッデンブローク家の人々』は、その西洋版とみることでもできる。大家の若旦那の道楽ぶりを揶揄するものと解されるが、金儲けしか知らない初代の身上が三代目にして教養という無形の財産に変じたとみることでもできる。それならば、見上げた三代目である。普通はこんなことはない。

居間や応接間の隅に埃をかぶったピアノが置かれている家が少なくない。まだ貧しかった時代に育って、自分はピアノを習うことができなかった。せめて孫や子にはピアノを弾かせたい。そう思って買い与えてはみたものの、孫や子どもには迷惑な話であり、いやいやながらお稽古を続けはしたものの、受験を控えるころにはついにギブアップとなる。それではと、近頃では中高年の諸氏が、ポロン、ポロンとピアノを習い始める。ピアノを弾けない親の子供がピアノを弾くなど、よほどの突然変異の才能や環境の幸運に恵まれない限り、あり得ることではないだろう。週一回、ピアノの先生が教えるだけでは、上達するはずがない。親が、それも相当の力量の親が先生になってつきっきりで習うにしくはない。音楽家の家庭、少なくともそれに近い環境が必要だろう。

音楽に限ったことではない。本好きになったのは、読む読まぬにかかわらず親が自分の書架に買い置いた文学全集を子どもの頃に耽読したためといった類の例が少なくない。少なくとも、親がいつもテレビの前に寝そべっていて、子どもにも本を読めと説教しても、それは無理というものである。本が比較的高価だったころ、書棚に本を満たしたその親の親もまた、あの若旦那のなれの果ての類か和漢の書籍を蔵した没落士族の出の教養層に属したかもしれない。音楽家の家に育っても必ずしもプロの、まして天才音楽家になるわけでもなく、本好きの少年がすべて作家になるわけではないが、代々にわたり醸成されてきた家庭の環境や雰囲気ひとをつくる。視野を広くとれば、時代を経て社会が培い蓄積してきた文化的環境が、その文化のレベルに見合うひとびとを形成する。さまざまな分野で天才と呼ばれるひとびとが輩出するにも、

無名ではあるが向学心に富んで質の高い才能をそなえるひとびとが天才の育つ土壌としてそれぞれの分野で厚く層を成すことを不可欠としよう。

あれほどの大帝國を維持する行政手腕（ローマ法）とそこからあがる莫大な租税、あるいはコロセウムはもとより軍用道路や水道橋などの遺跡にもうかがわれる優れた土木建築技術にひきかえ、なぜローマ帝國は、科学はもとより、芸術や文学その他において見るべきものを残さなかったのか。文化の違いと言ってしまえばそれまでであるが、知識層の薄かったこともある。発掘された遺跡からして、書籍の多くは、有力者の個人所蔵であった。カエサル以降、国家事業で大図書館も建設されるが、そこに収められた図書もギリシャその他、外国から略奪した戦利品であった。いずれにせよ利用者は限られ、パンとサーカスを求める無教養の大衆には無縁のものであっただろう。

クレオパトラは、ローマからのマケドニア王朝の独立の野望を果たすためにアントニウスに莫大な財宝や戦費を送り、その色香で彼を虜にする。そのお返しのひとつとして、アントニウスは、ローマ帝國が滅ぼしたペルガモン王國の図書館の蔵書のなかから二十万巻余りをアレキサンドリアの図書館に持ち運ぶ。書籍はやはりバレンタインデーのチョコレートのお返しくらいにしか扱われなかったようである。十数世紀にわたりその蔵書数で世界一の記録を保ち続けたそのアレキサンドリアの図書館は、アレキサンダー大王の後継者であり、クレオパトラのご先祖であるプトレマイオス一世とその子の二世ならびに孫の三世の三代にわたる国家的事業によっている。この図書館は、当時の一流の学者たちの手による文献考証と図書分類を経たギリシャ文化の集成であり、市民ならだれでも利用できる当時の学術研究センターであった。同じくギリシャ人であったペルガモン王國の三代の王たちは、この図書館に対抗心を燃やし続けて、海外からも学者たちが集まるような小アジア随一の図書館を、国を傾けてつくったのである。その背景には、受け継がれたギリシャ文化の伝統がある。

かたや政治や軍事や土木建築などの諸般の技術に優れたローマ人の文化、かたや技術面では遂に稚拙のままに終わったが、彼らなくして人類の数学と科学の発達は数世紀遅れたであろうと思われるギリシャ人の文化。両文化の違いは、書籍に対する、言いかえれば、知識に対する姿勢にもうかがわれる。図書館は、文化の一断面である。

資料探索法——論文検索のしかた

学術的な情報を収集するためには、図書だけではなく論文を読むことも必要です。図書や雑誌はOPACなどの目録で検索することができますが、論文を探すには別のツールが必要です。ここでは、論文を探すためのツールとして代表的な「雑誌記事索引」と「Current Contents」を紹介します。

国内論文を探す——雑誌記事索引

雑誌記事索引は、国立国会図書館が作成しているデータベースで、国内で刊行された学術雑誌や大学紀要などに掲載された論文情報を収録しています。論題中の語や著者名・掲載雑誌名・刊行年などから検索することができます。

所蔵年次 1990～(CD-ROM) 秋田・本荘キャンパス

利用方法 スタンドアロンタイプですので、図書館内のCD-ROM端末で御利用ください。

検索例

<キーワードによる検索>

「大学」の「図書館」の「OPAC」又は「目録」というキーワードが論題に含まれている論文を探す。

<雑誌・年次を指定しての目次通覧>

『図書館雑誌』の「1990年2月号」に収録されている論文を通覧する。

<検索結果一覧>

番号	論題名	著者名	雑誌名	発行年
1	大学図書館における目録の活用について	久保真由子	図書館雑誌	1994/3
2	大学図書館のOPACサービスについて	山崎真由子	図書館雑誌	1994/3
3	早稲田大学図書館の蔵書目録の活用について	久保真由子	早稲田大学	1994/3
4	高崎大学図書館蔵書目録の活用について	坂本太一	高崎大学	1994/3
5	玉川大学蔵書目録の活用について	(株)玉川大学	私立大学	1994/3
6	西大蔵書目録の活用について	土井 隆一	雑誌	1992/3
7	AV/ビデオ/CD-ROM/インターネット	Slater, Harold	現代の図書館	1992/3
8	雑誌記事索引の活用について	出田 直樹	図書館雑誌	1992/3
9	関西大学図書館における蔵書目録の活用について	山崎真由子	私立大学	1992/3
10	松山大学蔵書目録の活用について	高橋 正志	松山大学	1992/3
11	大阪女子大学蔵書目録の活用について	澤本 隆一	女子大学	1992/3
12	大学図書館における蔵書目録の活用について	山崎真由子	雑誌	1992/3
13	中国語の蔵書目録の活用について	高正志	雑誌	1992/3
14	東京大学蔵書目録の活用について	佐藤 隆一	雑誌	1992/3
15	4年制大学蔵書目録の活用について	小林 隆一	雑誌	1991/3
16	和文蔵書目録の活用について	石井 隆一	大学	1991/3
17	中津川大学蔵書目録の活用について	石井 隆一	女子大学	1991/3
18	京都府立大学蔵書目録の活用について	坂本 隆一	女子大学	1991/3

<詳細表示>

外国論文を探す——Current Contents

Current Contents は 米国のISI(Institute for Scientific Information)社が作成しているデータベースです。学術雑誌・図書・会議録の最新の目次情報が見られます。CD-ROM版には抄録も収録されています。カレント版のデータは毎週更新されます。

所蔵している分野と年次

- Agriculture, Biology & Environmental Sciences [農学・生物学・環境科学]
1999-2000年 (冊子体) 本荘キャンパス
1993-カレント版 (CD-ROM) 秋田キャンパス
- Engineering, Computing & Technology [工学・コンピュータ]
- Life Sciences [生命科学]
- Physical, Chemical & Earth Sciences [物理学・化学・地球科学]
(以上3分野) 1999-2000年 (冊子体) 本荘キャンパス

利用方法

- 冊子体：開架書架にありますので自由に利用してください。
- CD-ROM：スタンドアロンタイプですので、図書館内のCD-ROM端末で御利用ください。

検索例

<キーワードによる検索>

●冊子体

冊子体は、その週に刊行された雑誌等の目次情報・巻末の[TITLE WORD INDEX]・[AUTHOR INDEX]で構成されています。
キーワード検索をするには、
[TITLE WORD INDEX]を使用します。

[TITLE WORD INDEX]

EMPLOY		ENSURI	
CC Pg	J Pg	CC Pg	J Pg
EMPLOYING	92 146	ENSURING	33 243
98 337		ENT	99 587
EMU	47 351	ENTERPRISE	56 24
EN	74 199	ENTERPRISING	60 225
ENABLES	137 31	ENTERS	48 20
ENAMEL	117 24	90 24	124 33
ENCAPSULATING	117 14	ENTROPY	81 1275
ENCLOSURE	49 329	122 1167	
66 1349		ENTRY	133 3534
110 73			

①
キーワード

- ① current contentsの該当ページを見ると、論文名と収録雑誌・巻号が分かる。
- ② 収録雑誌での、該当論文のページ

●CD-ROM

CD-ROMには、最新の1年間に刊行された雑誌等の目次情報の他に、抄録や著者付与キーワードなどが収録されています。抄録なども検索対象とすることができるので、詳細で複雑な検索が可能です。

[検索画面]



12年度受入資料について

今年度受け入れる予定の資料の数量は、次のとおりです。

		秋田キャンパス	本荘キャンパス
システム科学技術学部	和書		2,500冊
	洋書		130冊
	視聴覚		20点
生物資源科学部	和書	1,100冊	
	洋書	370冊	
	視聴覚	30点	
総合科学教育研究センター	和書	1,700冊	420冊
	洋書	710冊	640冊
	視聴覚	180点	250点
その他 (放送大学関係ほか)	和書	800冊	700冊

今年度は各キャンパス図書館で特定のテーマに焦点を当てた選書も行いました。それぞれの企画について御紹介します。

秋田キャンパス企画図書

秋田キャンパス図書館委員 三吉一光・岡野桂樹

生物資源科学部では、本年度より学際的な領域にテーマを絞り込んだ“企画図書”の整備を開始しました。

テーマは『生物多様性と産業』ならびに『バイオテクノロジーの現状と未来』の2題を選定しました。

『生物多様性と産業』では、ワーキンググループにおいて選んだ約230冊の和書ならびに外国書の購入を予定しております。生物多様性に関する和書としては、わが国の東北地域を中心とした植物誌（植物の戸籍や住民票にあたるもの）やRed data book（絶滅危惧生物名を収録）をリストアップしています。また、外国書としては、日本の植物相と密接な関係を持つ中国・台湾の植物誌を中心に収集を予定しております。また、産業に関する図書としては、『環境保全型農業』と『コンポスト』をキーワードにした選書を行いました。（担当 三吉）

21世紀は生命科学の時代、バイオテクノロジーの時代と言われています。秋田県立大学生物資源科学部の多くの研究室ではさまざまな生物を使い、さまざまな形でバイオテクノロジーに関係した研究を行い、秋田のため、また地球のために寄与することをめざしています。

「バイオテクノロジーの現在と未来」では、実験法の詳細なマニュアルから急速に進歩するバイオインフォマティクスに関連する本、生命倫理に関する本に至るまで最新の本を網羅的に集めます。

学生、教員だけでなく、秋田県の“バイオテクノロジーに関心のある”すべての人が、バイオテクノロジーに関する知識を得たいと考えたら、すぐに秋田県立大学秋田キャンパス図書館を思い浮かべられるような充実した内容にしたいと思います。

御利用お待ちしております。（担当 岡野）

本荘キャンパス就職図書

本荘キャンパス図書館委員 西崎雅仁・島田邦雄

リクルートリサーチによると昨年度の大学生の求人倍率は、0.99倍と就職に関して非常に厳しい状況が続いています。そこで本荘キャンパス図書委員会では、学生の就職活動に役立ててもらおうと就職に関する情報コーナーを設け、約200冊の本を購入しました。

日本企業の雇用形態も急激に変化しています。「新卒=白紙の人材」として企業に入社すれば、企業内で教育してくれる時代は過ぎました。長期的な視野で専門性を高めておくことが必要です。そのためには学生時代に「やりたいこと」・「やってきたこと」・「できること」を自己アピールできることが必要です。主体的に就職活動ができるように自分の武器となるキャリアデザインについて就職コーナーを利用し、業界分析を行っていただきたいと思っております。

お 知 ら せ

Oxford University Press (OUP) 刊行
電子ジャーナル
トライアルおよび試験提供について

国立情報学研究所による電子図書館サービスの一環として、平成13年4月からOUP刊行電子ジャーナルの試験提供が行われます。13年3月まではトライアル期間として利用することが可能です。ジャーナルによっては、フルテキストの閲覧も可能です。利用は無料です。

利用対象者：秋田県立大学に所属する教職員、学生

利用方法：次のURLからアクセスしてください。

<http://www3.oup.co.uk/jnls/online/>

IPアドレスによる利用者管理を行いますので、学内の端末から利用してください。

秋田キャンパス
寄贈雑誌整理状況

多方面から学術雑誌・図書を御寄贈いただきまして、誠にありがとうございました。現在、刊年の新しい雑誌から順次整理をしております。整理が終わったものは図書館ホームページにリストを載せています。配架場所は1階書架です。

今後も洋雑誌を中心に整理していく予定です。

新入生のみなさんへ ～図書館オリエンテーションのご案内

実際に図書館へ足を運んでもらっての利用説明を行います。

図書館は大学での学習・研究にとってなくてはならない場所です。しっかりと使い方を覚えて、使いこなしてください。

◎内容

- ・館内の施設と資料の説明
 - ・コンピュータ目録 OPAC (オパック) の使い方
- 詳しい日程は、新入生ガイダンスや掲示板などで御案内します。
2・3年生や教職員の方の飛び入りも歓迎いたします。

秋田県立大学 図書館だより No.2 2001年3月発行

秋田県立大学 図書・情報センター (URL:<http://www.akita-pu.ac.jp/library/lib.html>)

●秋田キャンパス

〒010-0195

秋田市下新城野字街道端西 241-7

TEL018-872-1561 FAX018-872-1674

E-mail: a_library@akita-pu.ac.jp

●本荘キャンパス

〒015-0055

本荘市土谷字海老ノ口 84-4

TEL0184-27-2049 FAX0184-27-2185

E-mail: h_library@akita-pu.ac.jp

* 御意見・御要望等をお寄せください。
